

## 2012年のできごと

### 12月13日～1月22日 「2012カレンダー展」を開催

地図と測量の科学館において「2012 カレンダー展」を開催した。この展示は、主に地図調製機関等が作成した地図等を用いた 2012 年版カレンダーを紹介するもので、14 点を展示した。

### 1月7日～2月19日 企画展「第15回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催

地図と測量の科学館において、企画展「第15回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催した。本企画展は、全国各地で開催されている児童生徒の地図に関する作品展から選ばれた優秀作品を展示するもので、151 作品を展示した。また、国土交通大臣賞、文部科学大臣賞の表彰式が1月10日に国土交通副大臣室で行われた。

### 1月11日 第234回地震調査委員会に出席

文部科学省において第234回地震調査委員会が開催され、齊藤地理地殻活動研究センター長他5名が出席した。本会議では、「2011年12月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

### 1月13日 災害復興計画基図の提供を開始

東日本大震災被災地域における復興作業の効率的な実施や、復興計画の策定を促進することを目的とした大縮尺数値地形図「災害復興計画基図」を作成し、関係する自治体への提供を開始した。

### 1月18～19日 第9回日米GPS全体会合及び第4回日米宇宙政策協議に出席

アメリカ合衆国ワシントンD.Cの国務省において第9回日米GPS全体会合及び第4回日米宇宙政策協議（民生・商業利用）が開催され、松村測地観測センター長が出席した。本会議では、米国からGPS、及び全世界的測位衛星システム（GNSS）の国際的な協力活動の現況について報告が行われ、日本からはGNSSに関する日本の国際的な協力について報告が行われた。

### 1月26日 第9回測量技術講演会を開催

北海道地方測量部は、札幌第1合同庁舎講堂（札幌市）において、「北海道で想定される巨大地震と災害時における地理空間情報の利活用について」を主題とする第9回北海道測量技術講演会を（社）日本

測量協会北海道支部と共催で開催した。本講演会は、地理空間情報に関する最新の技術情報及びタイムリーな話題の提供を行い、地理空間情報の利活用推進を目的として開催された。

### 1月29日 「地図と測量のおもしろ塾 第4回 日本地図と友達になろう～」を開催

地図と測量の科学館において、「地図と測量のおもしろ塾 第4回 日本地図と友達になろう～」を開催した。本講座は「日本列島一筆書きにチャレンジ！」等の内容で構成され、地図と測量の普及啓発活動の一つとして開催された。

### 1月31日 平成23年全国都道府県市区町村別面積を公表

平成23年10月1日現在の日本国土の面積をとりまとめた「平成23年全国都道府県市区町村別面積」を公表した。国土の面積は、埋立等により1年間で4.74 km<sup>2</sup>増加し、377,954.84 km<sup>2</sup>となった。

### 2月9日 第235回地震調査委員会に出席

文部科学省において第235回地震調査委員会が開催され、齊藤地理地殻活動研究センター長他5名が出席した。本会議では、「2012年1月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

### 2月9日 東南海・南海地震防災セミナーを開催

近畿地方測量部は、大阪府庁新別館北館（大阪市）において、東南海・南海地震防災セミナーを大阪府と共同で開催した。本セミナーは、東南海・南海地震等の大規模災害に備えるため、近畿地方の防災関係機関の地震・津波防災対策及び災害復旧活動の向上に資することを目的として開催された。

### 2月15～16日 地理空間情報活用政府及び社会に関する国際シンポジウムに出席

マレーシアのクアラルンプールにおいて、地理空間情報活用政府及び社会に関する国際シンポジウムが開催され、村上地理空間情報部長が出席した。本シンポジウムでは、地理空間情報活用に関して、統治及び法的枠組み、測位及び情報基盤、産学セクターからの貢献、現状と成熟へ向けて、という4つのテーマでセッションが開催され、議論が行われた。

### 2月17日 第194回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第194回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地震活動や日本列島の歪み変化、日本海溝・千島海溝周辺の地殻変動に関する報告が行われた。また、重点検討課題「プレート境界に関するわれわれのイメージは正しいか? (その2) 千島海溝」に関する報告・議論が行われた。

#### 2月20日 国土地理院予算監視・効率化サブチーム審査会を開催

関東地方測量部において、予算監視・効率化サブチーム事前審査会を開催した。本チームは、予算の執行の適切性及び透明性の確保並びに効率性の向上を図るため設置されたもので、重要な調達について事前審査を行った。

#### 2月20日 国土地理院研究評価委員会を開催

関東地方測量部において、平成23年度第2回国土地理院研究評価委員会(委員長:大森博雄東京大学名誉教授)を開催した。委員会では、平成21~23年度で実施している特別研究1課題の終了時評価が行われたほか、特別研究1課題と研究開発3課題の研究状況の報告が行われた。

#### 2月23日 第1回電子国土基本図のあり方検討会を開催

関東地方測量部において、第1回電子国土基本図のあり方検討会を開催した。本検討会では、学識関係者及び関係行政機関等の参画を得てインターネット等で提供している電子国土基本図や、地形図の今後のあり方が議論された。

#### 2月29日 第122回火山噴火予知連絡会に出席

気象庁において、第122回火山噴火予知連絡会が開催され、今給黎地理地殻活動総括研究官が出席した。参加した各機関から全国の火山活動に関する最新の観測結果の報告、総合的な検討が行われ、特に霧島山(新燃岳)、桜島の火山活動について重点的に検討が行われた。国土地理院からは、GNSS連続観測結果やSAR干渉解析結果等を報告した。

#### 3月1日 第74回地名等の統一に関する連絡協議会を開催

海上保安庁海洋情報部において、第74回地名等の統一に関する連絡協議会が開催され、稲葉企画部長他11名が出席した。海洋情報部との協議の結果、決定地名の追加・変更が決定されたほか、島の識別ID(地理識別子)の付与について検討を進めることとなった。

#### 3月1~9日 国際VLBI事業(IVS)VLBI2010技術仕様ワークショップ、第7回IVS総会・第13回IVS解析ワークショップ及び第27回IVS評議会に出席

ドイツ連邦共和国のバート・ケッツティング市において開催された、国際VLBI事業(IVS)VLBI2010技術仕様ワークショップ及びスペインのマドリードにおいて開催された、第7回国際IVS総会・第13回IVS解析ワークショップに福崎技術専門員(宇宙測地課)他2名が出席し、第27回IVS評議会には栗原超長基線係長(宇宙測地課)が出席した。総会及び2つのワークショップではVLBI2010の技術的な仕様についての情報交換が行われ、評議会ではIVSの活動、VLBI2010等についての報告及び議論が行われた。

#### 3月3日~6月10日 企画展「東日本大震災から1年~今後の地震・災害に備えて~」を開催

地図と測量の科学館において、企画展「東日本大震災から1年~今後の地震・災害に備えて~」を開催した。本企画展では、東日本大震災の発生から復興にかかると国土地理院の取り組みを中心に、日本列島に甚大な被害をもたらした地震の記録等から、我が国の地震とその特徴等及び地理空間情報をどのように活用できるのか等の体験も含めて紹介した。

#### 3月4日 「地図と測量のおもしろ塾 第5回 地球の大きさを君の「手」・「足」を使って測ってみよう!」を開催

地図と測量の科学館において、「地図と測量のおもしろ塾 第5回 地球の大きさを君の「手」・「足」を使って測ってみよう!」を開催した。

講座の内容は「地球ひろば」にある「1秒」の標識の間の距離を歩測や測量機器で測り、そのデータをもとに地球の大きさを計算してみようというもので、地図と測量の普及啓発活動の一つとして開催された。

#### 3月9日 第236回地震調査委員会に出席

文部科学省において第236回地震調査委員会が開催され、齊藤地理地殻活動研究センター長他5名が出席した。本会議では、「2012年2月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

#### 3月12日~4月10日 「移動計測車両による測量システムを用いる数値地形図データ作成マニュアル素

### 案」に関するパブリック・コメントを募集

「移動計測車両による測量システムを用いる数値地形図データ作成マニュアル素案」を策定し、パブリック・コメントの募集を行った。本マニュアルは公共測量で用いられる新技術の測量方法を確認する資料として使用されるよう、平成24年度に公開を予定している。

### 3月14日 平成24年(2012年)3月14日21時05分頃の千葉県東方沖の地震に伴う地殻変動を検出

3月14日21時05分頃に発生した千葉県東方沖の地震(M6.1、深さ15km、最大震度5強)に伴う地殻変動を、電子基準点で検出した。

### 3月14～17日 タイ王国の地理情報・宇宙技術開発機関(GISTDA)と宇宙航空研究開発機構(JAXA)におけるTHEOS衛星-ALOS衛星の継続的な協力に関するワークショップに出席

タイ王国のバンコクにおいて、THEOS衛星-ALOS衛星の継続的な協力に関するワークショップが開催され、山中地球変動観測係長(宇宙測地課)が出席した。本ワークショップでは、洪水監視、米収穫量把握及び沿岸監視の分野におけるTHEOS・ALOSの利活用に関しての報告があり、3回目となる今回はこれまでの成果の取りまとめが行われた。

### 3月15日 第5回場所情報コードの利用技術に関する共同研究推進委員会を開催

関東地方測量部において、第5回場所情報コードの利用技術に関する共同研究推進委員会(座長:柴崎亮介東京大学空間情報科学研究センター教授)を開催した。本委員会では、各ワーキンググループから共同研究の進捗状況の報告、意見交換が行われた。

### 3月26～27日 地球規模の地理空間情報管理(GGIM)の将来ビジョンに関する会議に出席

アメリカ合衆国のニューヨーク市において、地球規模の地理空間情報管理(GGIM)の将来ビジョンに関する会議が開催され、村上地理空間情報部長が出席した。本会議では、第2回地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会(UNCE-GGIM)の議題、第19回国連アジア太平洋地域地図会議(UNRCC-AP)の準備に向けた意見交換が行われた。

### 3月26日 第2回電子国土基本図のあり方検討会を開催

関東地方測量部において、第2回電子国土基本図

のあり方検討会を開催した。本検討会では、ベクトルデータ・オンデマンド地形図(仮称)の刊行に向け議論が行われた。

### 3月27日 地理空間情報活用推進基本計画が閣議決定

地理空間情報活用推進基本計画が閣議決定された。本計画では、四つの基本方針の下、様々な施策に取り組むこととしており、誰もがいつでもどこでも必要な地理空間情報を使ったり、高度な分析に基づく確かな情報を入手し行動できたりする「地理空間情報高度活用社会(G空間社会)」の実現を目指す。

### 3月28日 高精度な数値標高データを公開

平成17年～21年にかけて国土交通省が1級河川沿いを中心に実施した航空レーザ測量を基にした高精度な数値標高データ、約134,000km<sup>2</sup>(国土の約35%)について、ホームページで基盤地図情報として提供を開始した。詳細な地形データを用いることにより、洪水、高潮、津波等による浸水被害の予測や土砂災害の危険性の調査等の高度化が期待されるほか、だれでも様々な用途に利活用が可能となる。

### 4月1日 地磁気の毎秒値データをグラフにして公開

地磁気毎秒値データの提供に先駆けて、水沢測地観測所及び4月6日から無人化をした鹿野山測地観測所における毎秒値データをグラフ化して、ホームページ上で準リアルタイムに表示を開始した。

### 4月2日 2012年度版地殻変動補正パラメータを公開

セミ・ダイナミック補正のための2012年度版地殻変動補正パラメータを公開した。

### 4月6日 津波予測支援のためのGPS情報提供システムの試験運用を開始

電子基準点で観測されたGPSデータのリアルタイム解析を行い、海溝型巨大地震発生時に生じる地殻変動量を即時に求めるシステムの試験運用を開始した。

### 4月6～16日 ミニ地図展を開催

北陸地方測量部は、魚津市新川文化ホール(魚津市)において、ミニ地図展を開催した。ミニ地図展では、「空中写真による魚津市の変遷」等の展示を行った。

### 4月10日 第237回地震調査委員会に出席

文部科学省において第237回地震調査委員会が開

催され、齊藤地理地殻活動研究センター長他 6 名が出席した。本会議では、「2012 年 3 月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

#### 4 月 19 日 電子基準点「小高」の復旧作業を実施

東北地方太平洋沖地震により観測が停止していた電子基準点「小高」の復旧作業を行った。これにより、東北地方太平洋沖地震で観測が停止した電子基準点はすべて復旧した。

#### 4 月 19 日 福島県沿岸地域の空中写真を公開

福島県沿岸地域において、東日本大震災以降新たに 4 月 10 日から 13 日に空中写真の撮影を実施し、その正射画像及び正射写真地図を公開した。

#### 4 月 27～28 日 平成 24 年（2012 年）4 月 27 日頃からの硫黄島の地殻変動を観測

硫黄島内にある 3 箇所の電子基準点では、GNSS 連続観測により長期的な隆起が観測されていたが、4 月 27 日から 28 日にかけて、最大 15cm を超える大きな隆起を観測した。

#### 5 月 6～10 日 国際測量者連盟 2012 年大会に出席

イタリア共和国のローマにおいて、国際測量者連盟 2012 年大会が開催され、永山北海道地方測量部長他 1 名が出席した。本大会は「国土管理、環境保全、文化遺産の評価の知識」をテーマとして開催され、東日本大震災に関する特別セッションにおいて、国土地理院の東日本大震災への対応等の発表を行い、意見交換を行った。

#### 5 月 8 日 5 月 6 日に発生した突風等による災害地域の空中写真を公開

5 月 6 日に発生した突風等による被災状況の把握のため、茨城県つくば市、栃木県真岡市、益子町における被災地域の空中写真撮影を実施し、撮影した空中写真を元にした正射画像及び正射写真地図をホームページで公開した。

#### 5 月 9 日～6 月 7 日 「電子国土基本情報（仮称）刊行（案）」に関するパブリック・コメントを募集

電子国土 Web システムの背景図として、また、2 万 5 千分 1 地形図作成の基となる情報として整備・更新してきた国土の基本的な地図情報を、電子国土基本情報（仮称）として刊行するにあたり、広く一般からの意見をふまえてデータ設計を進めるためパブリック・コメントの募集を行った。

#### 5 月 11 日 第 238 回地震調査委員会に出席

文部科学省において第 238 回地震調査委員会が開催され、齊藤地理地殻活動研究センター長他 5 名が出席した。本会議では、「2012 年 4 月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

#### 5 月 14～15 日 第 13 回全地球空間データ基盤会議及び地球地図国際運営委員会非公式会合に出席

カナダのケベック州において、第 13 回全地球空間データ基盤会議（GSDI）及び地球地図国際運営委員会（ISCGM）非公式会合が開催され、福島応用地理部長が出席した。GSDI 会議では、各国の地理空間情報の推進・活用状況について議論が行われ、ISCGM 非公式会合では、プロジェクト参加・データ整備状況等の報告のほか、地球規模の地理空間情報管理（GGIM）における地球地図に関する討議が行われた。

#### 5 月 20 日 測量士・測量士補試験を実施

全国 14 都市において平成 24 年測量士・測量士補国家試験を実施した。受験者数は測量士 2,247 名、測量士補 10,548 名であった。

#### 5 月 24～26 日 地球規模の地理空間情報管理（UNGGIM）に関する杭州フォーラム及びアジア太平洋 GIS 基盤常置委員会（PCGIAP）理事会に出席

中華人民共和国の杭州市において、地球規模の地理空間情報管理（UNGGIM）に関する杭州フォーラム及びアジア太平洋 GIS 基盤常置委員会（PCGIAP）理事会が開催され、村上地理空間情報部長が出席した。本会議では今後の UNGGIM 及び国連アジア太平洋地域地図会議（UNRCC-AP）の内容に関する検討が行われた。

#### 5 月 25 日 「基盤地図情報の整備に係る技術上の基準」の一部を改正

5 月 25 日に、日本工業規格 X7136（地理マーク付け言語）が制定され、同日工業標準化法（昭和 24 年法律第 185 号）第 16 条の規定に基づく公示がされたことを受け、「地理空間情報活用推進基本法第十六条第一項の規定に基づく地理空間情報活用推進基本法第二条第三項の基盤地図情報の整備に係る技術上の基準（平成 19 年国土交通省告示第 1144 号）においても、それらと整合をとるため、関係する箇所について改正を行った。

### 5月25日 日本水準原点を一般公開

関東地方測量部において、「測量の日」の記念行事として、我が国の土地の高さの基準となっている日本水準原点を一般公開した。併せて、三角点・水準点の復旧測量について、パネル等を展示した。

### 5月30日 第195回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第195回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地震活動や日本列島の歪み変化、東北地方太平洋沖地震関連についての報告が行われた。また、重点検討課題として「プレート境界に関するわれわれのイメージは正しいか? (その3) 相模トラフ周辺・首都圏直下」に関する報告・議論が行われた。また次回の重点検討課題「内陸で発生する地震について」に関する趣旨説明等が行われた。

### 5月30日～6月1日 「くらしと測量・地図」展を開催

関東地方測量部は、新宿駅西口広場イベントコーナー(新宿区)において、「くらしと測量・地図」展を開催した。江戸時代の国土を記録した伊能図、東日本大震災をはじめとする大災害による土地の激変を記した測量成果、東京の新しいランドマーク東京スカイツリーにまつわる最新の測量成果など、国土の変遷をたどることのできる地図等を展示した。

### 6月1日 第41回国土地理院報告会を開催

新宿明治安田生命ホール(新宿区)において第41回国土地理院報告会を開催した。国土地理院からの報告のほか、地震予知連絡会会長の島崎邦彦氏から特別講演をいただいた。本報告会には513名の参加があった。

### 6月2～3日 ミニフェスタ2012 in 仙台を開催

東北地方測量部は、仙台市科学館(仙台市)において、ミニフェスタ2012 in 仙台を開催した。本フェスタでは、東日本大震災関連のパネル展示や地図教室、測量体験、中学校生徒地図作品展の展示等を行った。

### 6月3日 「2012『測量の日』特別企画～復興1年明日を拓く地図と測量～」を開催

地図と測量の科学館において、「2012『測量の日』特別企画～復興1年明日を拓く地図と測量～」を開催した。本特別企画では、「東日本大震災」の復旧復興支援のための地理空間情報の活用と今後の地震・災害への対応、測量・地図の意義及び重要性についての講座や説明のほか、測量機器を使った測量体験等様々なイベントを実施し、2,225名の参加があった。

### 6月3日 平成24年測量の日における功労者感謝状を贈呈

測量・地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった高知工科大学システム工学群教授の高木方隆氏、一般社団法人山形県測量設計業協会相談役の永沢敏秋氏、琉球大学、沖縄国際大学、沖縄大学非常勤講師の渡邊康志氏の3人の方々に対し、国土地理院長から感謝状が贈呈された。

### 6月4～8日 第34回国際標準化機構の地理情報に関する専門技術委員会総会に出席

フランス共和国のトゥールーズにおいて、国際標準化機構の地理情報に関する専門技術委員会(ISO/TC211)の第34回総会が開催され、河瀬国際課長が出席した。総会では、3つの新規作業項目の登録、3つの技術仕様の登録、規格の定期見直し等が決議された。

### 6月4～8日 「測量の日」沖縄パネル展を開催

沖縄支所は、沖縄県庁ロビー(那覇市)において、「測量の日」沖縄パネル展を開催した。本パネル展では、標高データ図や沖縄県内の国・地方自治体、個人が作成したハザードマップ等を展示した。

### 6月5日 国土地理院予算監視・効率化サブチーム審査会を開催

関東地方測量部において、予算監視・効率化サブチーム事前審査会を開催し、重要な調達について事前審査を行った。

### 6月7日 「測量の日」記念講演会を開催

四国地方測量部は、サン・イレブン高松(高松市)において、「測量の日」記念講演会を開催した。本講演会では、国土交通省四国地方整備局企画部環境調整官横山嘉夫氏を講師に、「過去の防災話から学ぶ被害を減らすための知恵」と題し、四国の過去の災害教訓等からの減災について紹介した。

### 6月11日 第239回地震調査委員会に出席

文部科学省において第239回地震調査委員会が開催され、齊藤地理地殻活動研究センター長他4名が出席した。本会議では、「2012年5月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

### 6月11日 1:25,000火山土地条件図「栗駒山」を公開

栗駒山を中心に東西15km、南北14kmの範囲を作成し公開した。火山活動により形成された地形や噴

出物の分布のほか、平成20年岩手・宮城内陸地震による崩壊地・地すべり地を表示した。

#### 6月12日 標高がわかる Web 地図を試験公開

地図に表示されている基準点や標高点の数値、等高線などから標高値を読みとる技術がなくても任意の地点の標高値を簡単に知ることができる Web システムを試験公開した。本システムの活用により、公共機関における防災計画の策定や見直し、ハザードマップの作製や見直しへの活用だけでなく、個人における防災意識の向上に繋がっていくことが期待される。

#### 6月12日 「測量の日」パネル展、測量機器・システム展、講演会を開催

近畿地方測量部は、大阪合同庁舎第4号館（大阪市）において、国土地理院の測量・地図・防災に関するパネルや測量機器の展示及び講演会を開催した。

#### 6月18日 第17回中国地区測量技術発表会を実施

中国地方測量部は、山口県総合保健会館（山口市）において、第17回中国地区測量技術発表会を開催した。本発表会では、新しい測量技術や測量に係わるプロジェクトなどを広く紹介し、測量技術の普及・啓発を図ることを目的に、特別講演を行うとともに新技術及び地理空間情報の利活用、測量業務事例等を紹介した。

#### 6月19日 第39回日韓測地・地図協力会議を開催

国土地理院と大韓民国国土地理情報院は、国土地理院本院において、第39回日韓測地・地図協力会議を開催した。日本側からは小出参事官他4名、韓国側からは高永鎮測地課長他3名が出席した。会議では、両国における測地、地図作成及び地理空間情報にかかる事業・技術等について意見交換等が行われた。

#### 6月20日 「電子国土賞」受賞作品と「電子国土賞ロゴマーク」を決定

電子国土基本図等の国土地理院が提供・配信するデータを活用し、地理空間情報の高度活用社会の形成に貢献する GIS ソフトウェアと GIS コンテンツの中から、「電子国土賞」受賞作品と、「電子国土賞」にふさわしく親しみの持てる「電子国土賞ロゴマーク」を決定した。

#### 6月20日 「測量の日」記念講演会を開催

九州地方測量部は、福岡県中小企業振興センター（福岡市）において、「測量の日」記念講演会を開催した。本講演会では、「地理空間情報の新しい取り組

み」及び「防災と測量」と題し、新しい測量技術や測量に関わるプロジェクトなどを測量関係者に広く紹介した。

#### 6月20～22日 国連持続可能な開発会議（リオ+20）に出席

ブラジル連邦共和国のリオデジャネイロ市において、国連持続可能な開発会議（リオ+20）が開催され、福島応用地理部長他1名が出席した。会議では「我々が望む未来」が採択され、またジャパンパビリオンで開催された国土交通省のサイドイベントにおいて、環境問題の解明や持続可能な開発の実現に資する地球地図プロジェクトを促進するため、地球地図セミナーを開催した。

#### 6月21～23日 G空間EXPO2012が開催

パシフィコ横浜において、G空間 EXPO2012 が開催された。本 EXPO は、産・学・官が連携しての様々な分野の技術・製品・サービスが一堂に会し、これらに関わるヒトやモノの交流を促すことにより、地理空間情報が更に高度に活用される社会（G空間社会）を実現するためのイベントであり、3日間の入場者数は18,143人であった。国土地理院は、公共測量の普及啓発セミナーや防災地理空間情報活用シンポジウム、Geo アクティビティフェスタ、場所情報コードの利用技術に関する共同研究報告会等を開催した。

#### 6月22日 第140回南極地域観測統合推進本部総会に出席

第140回南極地域観測統合推進本部総会（本部長：文部科学大臣）が開催され、仲井国際課長補佐が出席した。本会合では、第54次観測実施計画についての審議などが行われた。また、第54次南極地域観測隊の隊員が決定され、国土地理院からは、吉高神写真図係長（画像調査課）が測地定常観測担当として派遣されることとなった。

#### 6月26日 第3回電子国土基本図のあり方検討会を開催

関東地方測量部において、第3回電子国土基本図のあり方検討会を開催した。本検討会では、電子地形図25000の内容等について議論が行われた。

#### 6月26日 第123回火山噴火予知連絡会に出席

気象庁において、第123回火山噴火予知連絡会が開催され、今給黎地理地殻活動総括研究官が出席した。本会議では、参加した各機関から全国の火山活動に関する最新の観測結果の報告、総合的な検討が行われ、特に霧島山（新燃岳）、桜島の火山活動につ

いて重点的に検討が行われた。国土地理院からは、GNSS連続観測結果やSAR干渉解析結果をはじめとして、全国の火山活動に関する観測結果や、その解析結果等を報告した。

**6月26日～9月17日 企画展「体感—地図っておもしろい～地図のたのしみ方・つかい方を新発見～」を開催**

地図と測量の科学館において、企画展「体感—地図っておもしろい～地図のたのしみ方・つかい方を新発見～」を開催した。本企画展では、デジタル標高データを使った地形図の紹介等を行った。

**6月29日 国土地理院研究評価委員会を開催**

国土地理院において、平成24年度第1回国土地理院研究評価委員会（委員長：大森博雄東京大学名誉教授）を開催した。委員会では、平成25年度からの実施を計画している特別研究新規課題の事前評価が行われたほか、国土地理院研究開発基本計画の中間評価が行われた。

**7月5日 平成24年度国土地理院入札監視委員会を開催**

関東地方測量部において、平成24年度国土地理院入札監視委員会（委員長：加藤照之東京大学地震研究所教授）を開催した。総会では、委員会の運営に関する説明及び委員長の選出等が行われ、加藤照之東京大学地震研究所教授が再選された。定例会議では、国土地理院が発注した平成23年10月1日から平成24年3月31日までの測量業務、役務の提供等及び物品の製造等の中から委員会が抽出した事案についての審議などが行われた。

**7月5日 国土地理院予算監視・効率化サブチーム審査会を開催**

関東地方測量部において、予算監視・効率化サブチーム事前審査会を開催し、重要な調達について事前審査を行った。

**7月10日 第240回地震調査委員会に出席**

文部科学省において、第240回地震調査委員会が開催され、齊藤地理地殻活動研究センター長他4名が出席した。本会議では、「2012年6月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

**7月13日 東北地方などの電子基準点より準天頂衛星やグロナス衛星のデータ提供を**

**開始**

受信機及びアンテナの更新が完了した東北地方を中心とする全国の電子基準点（187点）について、従来のGPSに加え、準天頂衛星（日本）やグロナス衛星（ロシア）を含む観測データファイルの提供を開始した。

**7月13～14日 平成24年7月九州北部豪雨の政府調査団員を派遣**

大雨による甚大な被害があった熊本県と大分県の現地調査を実施した政府調査団員として福島応用地理部長を派遣した。

**7月17日 平成24年測量事業関係功労者並びに優良業務及び優良技術者表彰を実施**

測量事業の推進に功績のあった測量事業関係功労者並びに平成23年度に完了した国土地理院発注の測量業務のうち、特に優れた成績を収めた優良業務及び優良技術者を表彰した。

**7月18日 平成24年7月九州北部豪雨により被災した地域の空中写真を公開**

大雨による甚大な災害があった九州北部地域について、応急対策の円滑な実施に役立つ資料として、空中写真を基に作成した正射画像及び正射写真地図をホームページで公開した。

**7月21～23日 「サイエンスフェスタ in 秋葉原」でパネル等を展示**

秋葉原駅構内TX広場において開催された「サイエンスフェスタ in 秋葉原」（主催：首都圏新都市鉄道（株）・（財）茨城県科学技術振興在団）に参加し、「関東地方陰影段彩余色立体図-3Dマップ」の床展示のほか、「つくばエクスプレス沿線のいまむかし」のパネル等の展示を行った。

**7月21日～8月31日 「2012夏休み特別企画」**

地図と測量の科学館において、「2012夏休み特別企画」を開催し、「くにかぜ」の内部公開、立体図化機「A-8」を使用する作図体験、「地図と測量に関する相談コーナー」の設置など様々なイベントを実施した。また、8月18～19日には「地図と測量のおもしろ塾～自分の地球儀を作ってみよう！」を開催した。

**7月23日 「利用者にとって価値ある使いやすい電子国土基本図を目指した提言（中間提言）」を公開**

第3回「電子国土基本図のあり方検討会」（平成24年2月設置、委員長：森田喬法政大学教授）で取

りまとめられた中間提言を公開した。提言では、電子国土基本図が利用者にとって価値ある使いやすいものとなるよう、電子国土基本図のデータの取得、表現、提供、活用の観点から今後の方策が示された。

#### 7月30日 国土の基本的な地理空間情報「数値地図（国土基本情報）」の刊行を開始

国土の基本的な情報として、行政区画・道路・鉄道・建物等の地図情報、居住地名等の地名情報、標高等を一つにまとめた「数値地図（国土基本情報）」を、北海道地区について刊行した。

10月30日には四国地区及び沖縄地区についても刊行を開始した。

#### 7月30日～8月10日 第10回国連地名標準化会議及び第27回国連地名専門家グループ会合に出席

アメリカ合衆国ニューヨーク市の国連本部において、第10回国連地名標準化会議（UNCSGN）及び第27回国連地名専門家グループ会合（UNGEGN）が開催され、政府代表団の一員として金子地理空間情報国際標準分析官他1名が出席した。会議では各国における地名標準化の状況報告、作業部会及び地域/言語部会の活動報告、地名標準化に係る課題の報告・議論が行われた。

#### 8月1日 第12回測量行政懇談会を開催

関東地方測量部において、第12回測量行政懇談会（委員長：中村英夫東京都市大学総長）を開催した。本懇談会では、「地理空間情報の整備・提供・活用」に関する政策レビューについて、「GNSS 測量による標高の測量の高精度化に向けて」、「国土地理院の最近の取り組みについて」等の報告及び議論が行われた。

#### 8月8日 第241回地震調査委員会に出席

文部科学省において第241回地震調査委員会が開催され、齊藤地理地殻活動研究センター長他5名が出席した。本会議では、「2012年7月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

#### 8月8～9日 「子ども霞ヶ関見学デー」に参加

文部科学省が主唱する「子ども見学デー」関連行事の一つである「子ども霞ヶ関見学デー」において、中央合同庁舎第3号館にて「地図からわかる！いろいろなこと！」と題して「日本分県パズルに挑戦！」や余色立体図の床展示、デジタル標高地形図、東日本大震災関連の展示等を行った。

#### 8月9日 第47回海岸昇降検知センター総会を開催

関東地方測量部において、第47回海岸昇降検知センター総会を開催した。本総会では、気象庁、海上保安庁海洋情報部、国土交通省港湾局、国土地理院及び海岸昇降検知センター事務局から、平成23年度事業報告及び平成24年度実施計画の説明及び東日本大震災関連の報告が行われた。

#### 8月12～15日 第19回地球地図国際運営委員会及び第2回地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会（UNCE-GGIM）に出席

アメリカ合衆国ニューヨーク市において、第19回地球地図国際運営委員会（ISCGM）及び第2回地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会（UNCE-GGIM）が開催され、福島応用地理部長他3名が出席した。

ISCGM では、リオ+20 の成果文書及び地球地図セミナー開催の報告、仕様第2.2版の改訂の採択、データ整備の進捗についての報告、全球土地被覆データの検証への協力依頼などが行われた。

UNCE-GGIM では、地理空間情報管理の動向に係る5～10年後の展望に関する戦略的考察、リオ+20に関する本委員会の貢献の総括等について議論が行われた。また、本委員会の取りまとめ文書には、持続可能な開発のための地球地図構想を推進する運営委員会を設立し、ユーザーニーズや応用分野などを調査し、翌年のハイレベルフォーラムにおいて中間報告を行う旨が採択された。

#### 8月17日 地球地図によるイラン北西部の地図を公開

8月11日にイラン北西部で相次いで発生した地震に伴い、大きな被害を被ったイラン北西部東アゼルバイジャン州周辺の地球地図を公開した。

#### 8月18日 「測量の日」中部地区記念行事を開催

中部地方測量部は、メッセウイングみえ（津市）において、「自然災害と測量技術～災害・防災からみた測量技術の役割～」をテーマとして「測量の日」中部地区記念行事を開催し、講演会や災害と測量の関わりについて各種展示を実施した。

#### 8月21日 1:10,000 火山基本図「箱根山」を公開

箱根カルデラの内側から小田原までの早川流域189 km<sup>2</sup>の範囲（9km×7 km×3面）を作成した。また、火山基本図では初めての試みとなる陰影段彩を重ねた地図を作成し公開した。

#### 8月29日 第196回地震予知連絡会を開催



関東地方測量部において、第196回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地震活動や日本列島の歪み変化、東北地方太平洋沖地震関連について報告が行われた。また、重点検討課題「内陸で発生する地震について」に関する報告・議論が行われた。

#### 8月30日 電子地形図25000の刊行を開始

インターネットを経由して最新の地形図（画像データ）を購入することができるサービスとして、利用者が欲しい場所を欲しい大ききで自由に切り取ったり、地物の表現を選択したりすることができる「電子地形図25000」を、北海道地区について刊行した。

10月30日からは四国地区及び沖縄地区についても提供を開始した。

#### 8月31日 国土地理院研究開発基本計画を改正

研究開発の方向性を定める「国土地理院研究開発基本計画」（平成21～25年度）について、中間年経過に伴い、国土地理院内部における評価（内部評価）及び外部有識者による研究評価委員会（外部評価）により中間評価を行い、中間評価報告書を取りまとめるとともに研究開発基本計画を改正した。

#### 9月1日 津波予測支援に関する共同研究を開始

国土地理院と東北大学大学院理学研究科は、津波の予測に必要な地震の規模や震源断層モデルを、地殻変動の観測データから即時・的確に推定する技術の実用化及び高度化を目的として、9月1日から共同研究「津波予測支援のためのGNSSリアルタイム解析に関する研究」を開始した。

#### 9月3～7日 大韓民国の国土地理情報院においてVLBI技術支援を実施

第39回日韓測地・地図協力会議における大韓民国国土地理情報院からのVLBI専門家派遣要請を受け、田邊宇宙測地課長他2名が韓国に渡航した。世宗市内の宇宙測地観測センターVLBI観測局において、VLBIシステムの調整、VLBI運用方法等の技術支援を実施した。また、水原市内の国土地理情報院では、「国土地理院による日本の測地VLBIの状況」と題した講演を行った。

#### 9月4日 東海地震に備えた現地緊急測量調査の訓練を実施

東海地震に備えた現地緊急測量調査の訓練のため、国土地理院東海機動観測基地（静岡県掛川市）に現地緊急測量調査班を派遣し訓練を実施した。東海地震発生に伴う地殻変動把握を目的として、東北地方太平洋沖地震の教訓から、港湾施設等の上下変動を

いち早く把握するため、GNSSを使用して変動量を調査する訓練及びGNSS連続観測施設（電子基準点）の点検とともにデータ収集を行い、携帯電話でデータ送信する訓練を実施した。

#### 9月11日 第242回地震調査委員会に出席

文部科学省において、第242回地震調査委員会が開催され、齊藤地理地殻活動研究センター長他5名が出席した。本会議では、「2012年8月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

#### 9月20日 火山地形分類データの提供開始

火山土地条件図（19火山）に表示された火山地形分類データ（過去の火山活動により形成された地形や噴出物の分布など）について、インターネットにより提供を開始した。

#### 9月20～22日 日本アルプスでのGNSS観測を実施

飛驒山脈（北アルプス）前穂高岳（標高3090m）山頂の一等三角点「穂高岳」（長野県松本市）において、平成11、17、20年の観測に引き続き、4年ぶりにGNSS観測を行い、山の高さの変化等を精密に測定した。

#### 9月22～26日 富士五湖の「西湖」の湖底地形調査を実施

山梨県富士五湖のひとつである「西湖」は昭和39年に調査を行ってから48年が経過しており、湖とその周辺の環境が変化していることから、山梨県、富士河口湖町、西湖漁業協同組合の協力を得て、湖底地形データの更新のための調査を実施した。

#### 10月2日～11月4日 企画展「国土を測り大地を監視する」を開催

地図と測量の科学館において、企画展「国土を測り大地を監視する」を開催した。本企画展では、測量機器や測量方法、その測量の成果である地殻変動の記録等を実際の測量機器、地殻変動図等により紹介し、最新の測量機器の展示も行った。

#### 10月9～12日 UJNR地震調査専門部会第9回合同部会に出席

アメリカ合衆国コロラド州のレイクウッド市において、天然資源の開発利用に関する日米会議（UJNR）地震調査専門部会第9回合同部会が開催され、稲葉参事官他3名が出席した。本部会では、地震調査研究に関する42課題（口頭発表39課題、ポスター発表3課題）

についての講演が日米双方から行われた。

#### 10月10日 第243回地震調査委員会に出席

文部科学省において、第243回地震調査委員会が開催され、今給黎測地観測センター長他5名が出席した。本会議では、「2012年9月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

#### 10月11～18日 島根県「宍道湖」の湖底地形調査を実施

島根県の「宍道湖」は昭和37～38年に調査を行ってから50年が経過しており、湖底などの地形が変化していると考えられることから、中国地方整備局出雲河川事務所、出雲市、宍道湖漁業協同組合の協力を得て、湖底地形データの更新のための調査を実施した。調査で得られるデータは、湖底地形変化が把握できると共に、湖沼管理やシジミなどの漁業計画における基礎資料として活用されることが期待される。

#### 10月19～26日 国際VLBI事業(IVS)第28回IVS評議会及び第1回国際VLBI技術ワークショップに出席

アメリカ合衆国のウェストフォードにおいて、第28回IVS評議会及び第1回国際VLBI技術ワークショップが開催され、栗原基線解析係長(宇宙測地課)が出席した。総会及びワークショップではVLBI2010の技術的な仕様についての情報交換が行われ、評議会ではIVSの活動、VLBI2010等についての報告及び議論が行われた。

#### 10月24日 第124回火山噴火予知連絡会に出席

気象庁において、第124回火山噴火予知連絡会が開催され、今給黎測地観測センター長が出席した。本会議では、昨年1月の噴火以降、活動が続いている霧島山(新燃岳)や活発な活動を続けている桜島に関して重点的な検討が行われた。国土地理院からは、GNSS連続観測結果やSAR干渉解析結果をはじめとして、全国の火山活動に関する観測結果や、その解析結果等を報告した。

#### 10月24日 国土地理院予算監視・効率化サブチーム事前審査会を開催

関東地方測量部において、予算監視・効率化サブチーム事前審査会を開催し、重要な調達について事前審査を行った。

#### 10月25～26日 平成24年度国土交通省国土技術研

#### 研究会に参加

国土交通省本省において、平成24年度国土交通省国土技術研究会が開催された。国土地理院から自由課題(イノベーション部門)2課題、ポスターセッション1課題の発表を行った。

#### 10月29日～11月2日 第19回国連アジア太平洋地域地図会議(UNRCC-AP)等に出席

タイ王国のバンコクにおいて、第19回国連アジア太平洋地域地図会議(UNRCC-AP)、及び第18回アジア太平洋GIS基盤常置委員会(PCGIAP)と第1回国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会(UN-GGIM-AP)が開催され、村上企画部長、福島応用地理部長他2名が出席した。UNRCC-APでは、PCGIAPからの活動報告が行われた他、各国から提出されたカントリーレポートをもとに議論が行われた。また、PCGIAPの名称がUN-GGIM-APに改称され、初代事務局長に村上企画部長が選任された。

#### 11月1日 能代・三方・出水断層帯の活断層図を公開

空中写真の判読等によって活断層を抽出し、詳細な位置や断層のずれの方向などを2万5千分1地形図上にまとめた、都市圏活断層図(能代断層帯とその周辺)「能代」「森岳」、(三方断層帯とその周辺)「三方」、(出水断層帯とその周辺)「出水」の4面を公開した。

#### 11月1日 地磁気毎秒値データの提供を開始

鹿野山、水沢両測地観測所における地磁気毎秒値データの準リアルタイム提供を開始した。秒値データの準リアルタイム提供により、地下内部構造探査、津波発生予測、磁気嵐の予測など各種研究等で一層の有効活用が期待される。

併せて、2009年度以降の秒値データ(1日毎の圧縮ファイル(zip形式))の提供も開始した。

#### 11月6～25日 「第13回いばらき児童生徒地図作品展」を開催

地図と測量の科学館において、「第13回いばらき児童生徒地図作品展」を開催した。本作品展は、県内の児童・生徒が身のまわりの環境や地域の姿を自ら観察、調査し、それらを地図として表現することにより、環境や地図、さらには地域に対する関心を深めることを目的として開催した。また、全応募作品156点の中から、最優秀賞、優秀賞、入選を選出し、11月17日に表彰式を行った。

**11月9日 第141回南極地域観測統合推進本部総会に出席**

第141回南極地域観測統合推進本部総会が開催され、村上企画部長他1名が出席した。本総会では、第54次南極地域観測隊の行動実施計画等についての審議が行われた。

**11月9日 第244回地震調査委員会に出席**

文部科学省において、第244回地震調査委員会が開催され、畑中地殻変動研究室長他7名が出席した。本会議では、「2012年10月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

**11月16日 関西G空間フォーラム2012を開催**

近畿地方測量部は、大阪市内において、関西地域における産学官の連携により関西G空間フォーラム2012を開催した。本フォーラムは、関西における地理空間情報についての現状を認識するとともに、産学官の間で共有化を図り将来を展望することを目的としており、合同シンポジウムの中で第31回測量技術講演会を実施し4名の講演が行われた。

**11月20日 第4回電子国土基本図のあり方検討会を開催**

関東地方測量部において、第4回電子国土基本図のあり方検討会を開催した。本検討会では、2万5千分の1地形図の表現や小縮尺地図データのあり方について議論が行われた。

**11月21日 第197回地震予知連絡会を開催**

関東地方測量部において、第197回地震予知連絡会を開催した。本会議では、平原和朗委員が新会長となった。また、島崎邦彦前会長を名誉委員に推す提案があり、承認された。さらに、地殻活動モニタリングに関する検討、および、重点検討課題「世界の巨大地震・津波」の報告・議論が行われた。

**11月25日 第54次南極観測隊が出発**

第54次南極地域観測隊の一員として、吉高神写真図係長（画像調査課）を派遣した。吉高神隊員は、南極地域観測事業における定常観測として、昭和基地周辺の地上レーザースキャナーを用いた精密地形測量、ヘリコプターによる東オングル島周辺の簡易空中写真撮影、露岩域氷床変動測量等を行う。

**11月28日 富士五湖「西湖」の湖底地形調査の結果について**

9月に実施した山梨県富士五湖のひとつである

「西湖」の湖底地形調査より、湖全体の高精度、高密度の水深データが得られ、高精度水深データ陰影段彩図「西湖（暫定版）」として公表した。得られた詳細な湖底の地形から、富士山から流出した溶岩流の地形や陸域の扇状地が湖底に連続している様子などが明瞭にみられた。今回の調査結果は、西湖の自然環境の保全やクニマスの生態解明や保護への活用が期待される。

**12月3日 関西G空間フォーラム in 奈良を開催**

近畿地方測量部は、奈良市内において産学官の連携により関西G空間フォーラム in 奈良を開催した。本フォーラムは奈良県内を中心に地理空間情報の整備・活用推進に関わる自治体職員や産学官の関係者を対象として、地理空間情報に関する国の施策や研究分野の動向等を紹介し、奈良県内の地理空間情報の活用を推進することを目的とし、5名の講演が行われた。

**12月6日 地球地図によるフィリピン・ミンダナオ島東部周辺の地図の公開について**

12月4日に上陸した台風24号の豪雨による、洪水や土砂崩れなどの大きな被害が発生しているフィリピン南部のミンダナオ島の東部にあるコンポステラ・バレー州や東ダバオ州周辺の地球地図を公開した。

**12月8～10日 第4回アジア・オセアニアGNSS地域ワークショップに出席**

マレーシアのクアラルンプールにおいて、第4回アジア・オセアニアGNSS地域ワークショップが開催され、古屋衛星情報係長（衛星測地課）が出席した。本会議では、アジア・オセアニア地域におけるマルチGNSSの利用に関する実証実験の成果等が報告された。国土地理院からは、GEONETのGNSS対応計画、JAXAマルチGNSS観測ネットワークへの貢献状況について報告した。

**12月11日 第245回地震調査委員会に出席**

文部科学省において、第245回地震調査委員会が開催され、齊藤地理地殻活動研究センター長他5名が出席した。本会議では、「2012年11月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

**12月12日 平成24年度国土地理院入札監視委員会第2回定例会議を開催**

関東地方測量部において、平成24年度国土地理院入札監視委員会第2回定例会議を開催した。国土地

理院が発注した平成24年4月1日から平成24年9月30日までの測量業務、役務の提供等及び物品の製造等の中から委員会が抽出した事案についての審議が行われた。

**12月18～21日 大韓民国の釜山大学において地殻変動観測に関する技術講習を実施**

大韓民国の釜山大学において、測距儀を用いた地殻変動観測に関する技術講習を実施するため、豊福火山観測係長（機動観測課）他1名が渡航した。技術講習では、国土地理院が実施している測距儀を用いた地殻変動観測、測量作業要領に関する講義、トータルステーションを用いた実習等を行った。

**12月20日 福島第一原子力発電所周辺における避難指示解除準備区域等の測量成果を改定**

平成24年4月から8月にかけて、福島県川内村、田村市、南相馬市、飯舘村及び楡葉町で避難指示解除準備区域等への見直しが行われたことに合わせ、基準点の再測量作業を行い、改定した測量成果を国土地理院ウェブサイトで公表した。また、公共基準点等の座標値のずれを補正するための補正パラメータの範囲を新たに追加し、提供を開始した。